

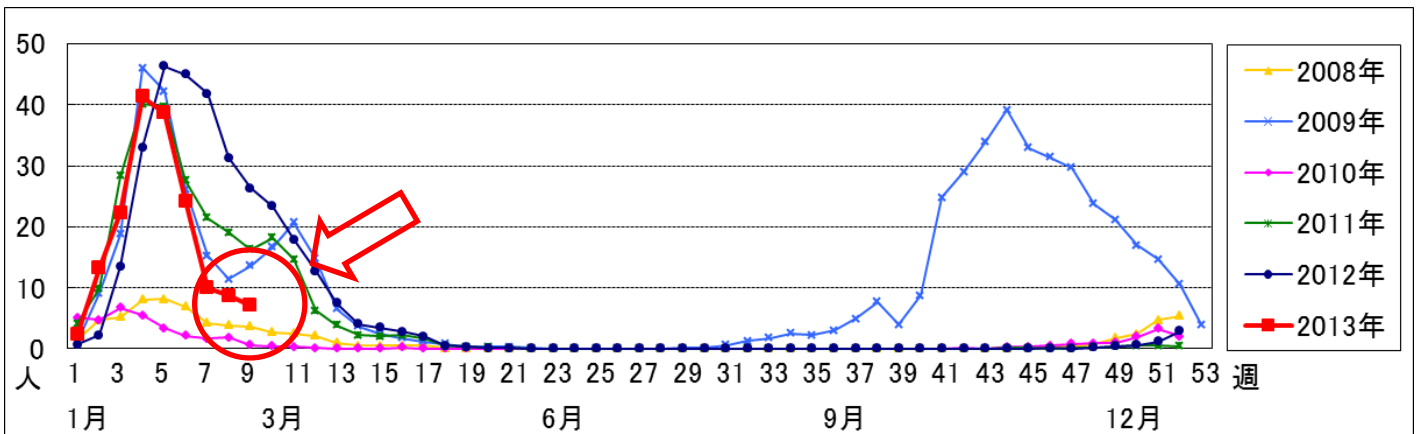
# 横浜市インフルエンザ流行情報 9号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

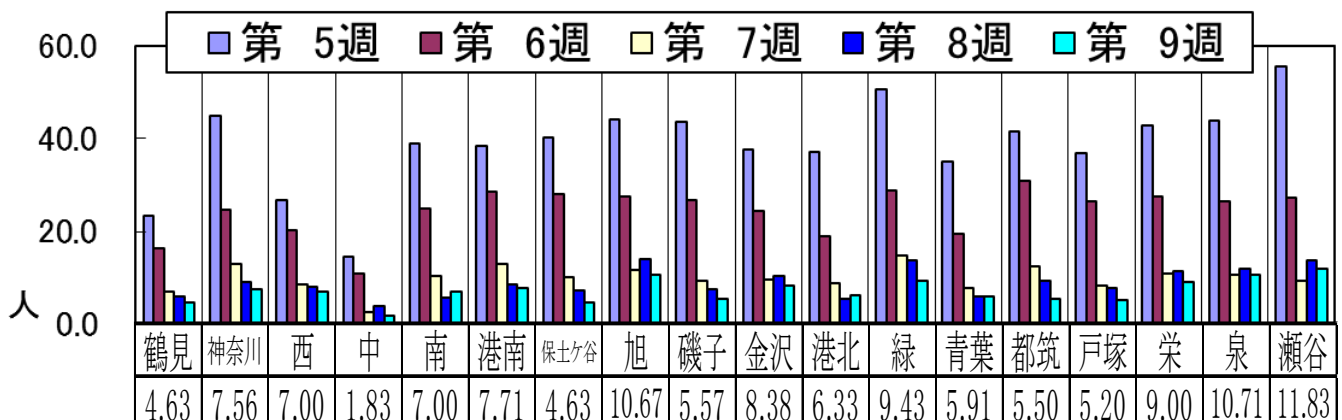
## 《トピックス》

- 市全体では患者報告数は減少傾向ですが、区別では、現在も警報、注意報レベルの区もあるため、引き続き注意が必要です。
- 学級閉鎖数は前週より増加しました。
- 予防では、うがい、手洗いや、マスクをしましょう。
- もし罹った場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

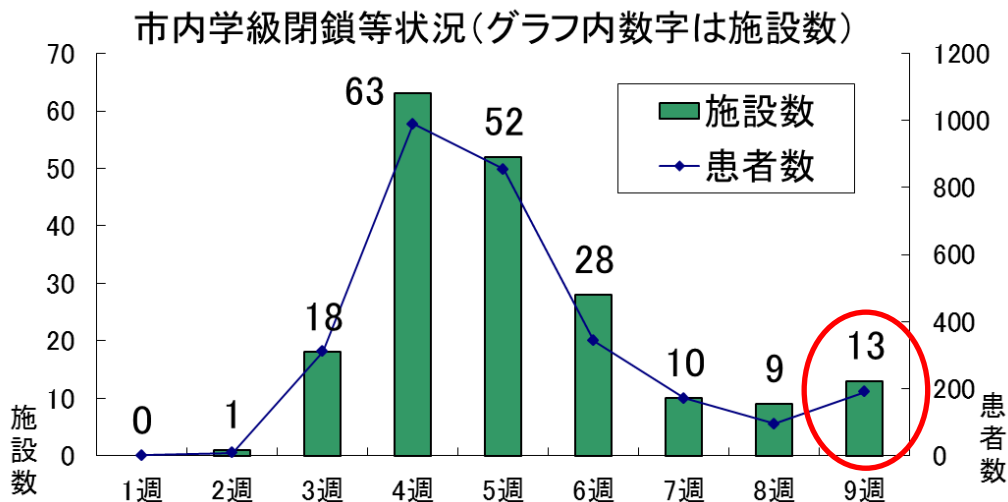
1 市内流行状況: 第7週(2月11日~17日)に警報終息基準値 10.00 を下回り、第9週(2月25日~3月3日)は定点あたり 7.10 と、さらに減少傾向です。



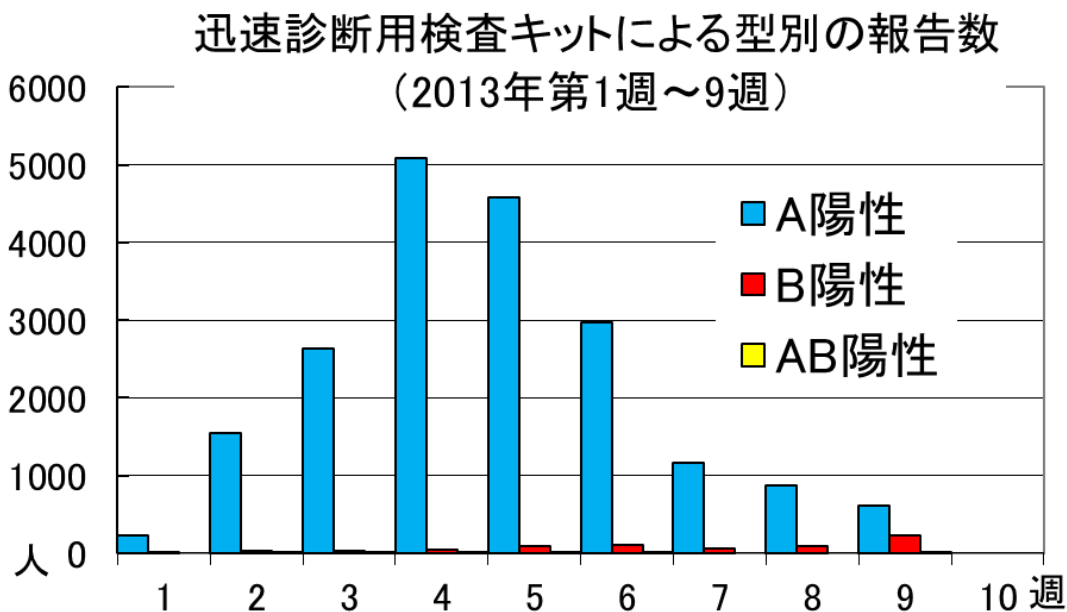
2 区別流行状況: 現在も旭区、泉区で警報レベル(一度警報開始基準値 30.00 を上回ると、警報終息基準値 10.00 を下回るまで警報レベルが続きます)、瀬谷区で注意報レベル(警報終息基準値 10.00 をいったん下回ったものの、その後注意報開始基準値 10.00 を上回ったもの)となっています。



**3 市内学級閉鎖等状況:**第9週では、前週よりも閉鎖のあった施設数は増加しました。第9週の施設種別では、小学校8件、幼稚園4件、中学校1件でした。



**4 迅速キット結果:**第9週では、迅速キット陽性例のうち、A型73.4%、B型26.3%、A、B型ともに陽性0.2% (小数点第2位四捨五入)となっています。B型の報告が増加していますが、全体としては減少傾向です。



**5 市内病原体検出状況:**市内では病原体定点から今シーズン計111件インフルエンザウイルスが分離・検出されており、そのうちAH3亜型が100件(90.1%)とほとんどを占めています。B型では、山形系統が検出されています。

